

国道19号・21号「雪寒対策出陣式」を開催しました。

～道路交通の安全 確保並びに作業の安全確保に向けて～多治見砂防国道事務所

多治見砂防国道事務所では、冬期の安全確保及び作業の安全を図るために雪寒対策出陣式を実施しました。当日は、来賓に瑞浪市長をお迎えして、パトロール車・凍結防止剤散布車・除雪機械等の安全点検及び安全宣言などを行いました。

日時：平成24年12月5日(水) 13:00～

場所：多治見砂防国道事務所 瑞浪国道維持出張所（瑞浪市土岐町）

参加者：瑞浪市長、瑞浪市職員、委託業者、多治見砂防国道事務所職員 約40名

出動車両：凍結防止剤散布車2台、パトロール車2台、作業車2台

※雪寒作業の無事故無災害を誓った後、凍結注意看板等の設置に出発しました。



所長挨拶



瑞浪市長来賓挨拶



報告



安全点検



出発



◇雪寒対策出陣式 冬の道路交通の安全に備え、多治見砂防国道事務所が5日、瑞浪市土岐町の瑞浪国道維持出張所で開いた。同事務所職員や市職員、委託業者ら40人が出席し、士気を高めた。伊藤仁志所長が「国道19、21号の安全な交通を確保し、路面凍結で事故のないようにしたい」とあいさつ。除雪機械車や作業車など6台が、出席者の拍手の中、出張所を出発した。写真。

中日新聞 H24.12.6 (朝) 20面